

デジタル田園都市国家構想交付金事業進捗評価調書(R04年度実績)

担当課名	まちづくり推進課
連携課名	農林水産課

【事業の概要】

交付金事業	エニワン・ウェルカム・タウン推進事業		計画期間	総事業費	108,420 (54,200)
	事業目標		R04~R06		
<p>就農支援・創業支援などを促進し、また町の新たな賑わいを創出することで、人口減少や地域活性化などの課題解決に資する事業を展開する。 (R06年度までに「(最低賃金に満たない)小さな仕事の可視化」30件創出、「移住情報サイトアクセス数」70,000pv増加 など)</p>					
<p>・本町は、瀬戸内海に突き出した国東半島の付け根に位置し、北には鹿鳴越連山、南には別府湾を望む美しい景観や「城下かれい」などの豊富な農海産物に恵まれているが、県外からの知名度は低く、ここ数年は人口減少傾向である。本町の良い住環境や交通利便のみを特長としていた人口増加及び地域活性化施策等については、本町の強みを活かした新たな政策展開やさらなる事業深化が求められている。 ・国勢調査(2020年)では、町内居住者の51.8%が町外就業であり割合が高く、昼夜間人口比率も86.6%と県内で最も低くなっている。 ・本町の産業別総生産額や就業者数の推移からも、第1次産業は衰退傾向であるが、農業や漁業においては、生涯現役で働くことができる豊かな土壌や環境、ノウハウ等の蓄積がある。 ・本町は、サンリオテーマパーク「ハーモニーランド」と連携し「ハローキティとくらすまち」を宣言しているが、ハローキティを積極的に活用した情報発信を実施できておらず、いまだ全国的な認知度が低い。 ⇒以上の課題を踏まえ、本交付金を活用して、多様な就業スタイルを求めている若者や子育て世帯などをおもな移住ターゲットとした総合的なプロモーションを展開することで、本町の地方創生を実現する。</p>					
事業概要		目的	内容		
		<ul style="list-style-type: none"> 第1次産業や地場企業の生産活動を支援し、人口減少対策につなげる 本町の魅力を情報発信することで、関係人口等を創出し、将来的な移住誘因を生み出す 住まいの選択肢を増やすための伴走支援体制を強化し、移住の促進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 移住促進動画の制作、マルチアテンダントの配置による移住希望者支援の充実 住民が支援できる「小さな仕事」の可視化や空き店舗等の利活用調査 まちの魅力を満載した情報誌制作、WEBやSNS等によるプロモーション展開 		

【関連事業(政策連携の概要)】

事業目標のために関連する事業	
<p>・大神地区活性化推進協議会事業 ◇農業政策連携 ■当協議会は、大神地区の住民・農家・観光事業者等で構成される地域おこし団体。同地区の産業振興や賑わい創出を目的として様々な活動を行っている。 ■同地区に多数存在する観光資源等を多くの人に知ってもらうため、観光案内板を設置した。 ■同地区の自然環境や産業等、良さを知ってもらい、地区住民と町内外の人たちが交流することを目的として、11月に糸ヶ浜海浜公園で「大神うまいもの収穫祭」を開催。地区住民による出店や交流イベントなど多数の催しが行われ、多くの人(約1,800人)が来場した。</p>	
<p>・大神海岸線会議(ローカルリバイタリゼーション推進事業) ◇観光政策連携 ■町内在住のアーティスト12名の作品展示、また「1日だけの砂浜市場とアートステージ」を5月に糸ヶ浜海浜公園で開催。町内外から 約6,000人が参加・来場した。 ■地区内の観光拠点であるホテルと海浜公園を会場にして、アーティストや自営業者等が合同企画したローカルイベント。企画者(アーティスト等)は出店するだけでなく住民との交流を深めることができ、今後の移住のきっかけづくりにもつながっている。 ■当事業で本町の魅力を発見した来場者がリピーター化(※ホテルの宿泊者アンケートより参照)しており、交流人口の創出、域内消費の拡大などにも寄与している。</p>	

【目標指標】

指標(KPI)	単位	基準値	年度			
			R04	R05	R06	
移住情報サイトアクセス数	pv	76,991	目標値	15,000pv増加	25,000pv増加	30,000pv増加
			実績値	△4,235pv減少		
空き家バンク物件成約数	件	13	目標値	15件成約	17件成約	20件成約
			実績値	13件成約		

【事業の達成状況と今後の展開について】

評価	事業の達成状況	
△	R04	サイトアクセス数、空き家物件成約数とも目標未達成。しかし、制作した動画(ユーチューブ)のアクセス数は23万回再生を越えており、事実上は目標を達成している。空き家バンクについても、成約数が落ちこんだというほどではないため、来年度以降は、 本町への移住誘因となるきめ細かな情報発信を行うなど、移住者増加施策の推進を図る必要がある。
	R05	
	R06	

※評価:◎計画を上回る ○計画どおり △やや下回る ×不十分

【今後の方針・課題】

<p>・令和以降に感染が急拡大した新型コロナウイルスの影響により、人の動きが長期的に停滞した。しかし、今後は人口が密集している都市圏から、LOHASと呼ばれる生活様式への要求やスローライフを享受できる地方部への移住(検討)が、活発になることも予想される。これらの動向を慎重に見据えながら、より有効性の高い移住促進施策を実施していく必要がある。</p> <p>・本町の特徴である美しい自然環境や交通アクセスの良さ、観光資源や豊かな農海産物などの魅力を町内外に周知し、目標である「賑わいと活力」「新しいひとの流れ」をいかに創出し、地域の活性化ひいては既居住若年層のシビックプライド醸成(による定住促進)につなげる施策を展開しなければならない。</p> <p>・都市圏において、本町の知名度の低さ(情報の少なさ)はいまだに否めない。移住希望者向けに限らず、町の知名度を向上させるためのタウンプロモーション戦略をさらに改善・検討する必要がある。</p>

【事業実施計画・実績】

(単位:千円)

事業実績及び年次計画			
年度	R04(実績)	R05(計画)	R06(計画)
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 移住促進動画の制作 ハローキティ等サンリオキャラクターのアドバイザー業務支援 総合的なプロモーション実施(情報誌制作・WEB) 営農環境改善プロジェクト 空き店舗等利活用調査 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的なプロモーション実施(食の魅力情報誌制作・WEB) ハローキティ等サンリオキャラクターのアドバイザー業務支援 ローカルエンターテイメント創出 営農環境改善プロジェクト 廃校利活用プロジェクト業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 移住促進ノベルティの制作 ハローキティ等サンリオキャラクターのアドバイザー業務支援 総合的なプロモーション実施(紙媒体・WEB) ローカルエンターテイメント創出 Mixworksプロジェクト業務委託
事業費	40,500	34,800	33,100
うち一般財源	20,250	17,400	16,550

令和4年度の事業概要

<p>・まちの魅力を都市圏等に情報発信するためのオリジナル動画を制作 ■ 第1次産業をはじめ、本町の魅力を移住のきっかけにってもらうため、「住んでみたい」「訪れたい」と思われるように町内在住の移住者インタビューなどを紹介した「オリジナル動画」を制作。</p> <p>・サンリオとの連携によるまちの魅力をブラッシュアップ ■ サンリオのキャラクターを活用したノベルティグッズ(※卓上アクリルスタンド)などの試作品を制作。</p> <p>・総合的なプロモーションの展開(情報発信) ■ 町地場産品の魅力を全国に発信し、観光誘導やふるさと寄附、また域内消費の拡大につなげるため、「旅するナビゲートマップ(情報誌)」を制作するなどプロモーション活動を展開。</p> <p>・営農環境改善もうかる化プロジェクトの実施 ■ 移住希望者のトライアル就農機会の創出や将来的な就農誘因となるよう圃場や小規模ハウス等の整備を実施。</p>
